

— 第45号 —

2015.7.22

ちくせい

筑西市



# 議会だより



## 目次

議決一覧表	2～3ページ
議案質疑	4～5ページ
一般質問	6～14ページ
常任委員会の審査から	15ページ
人事紹介口第1回臨時会	15ページ
議会日誌口編集後記	16ページ

写真：プール開き（関城東小学校）

編集 筑西市議会広報委員会 / 発行 筑西市議会



## 平成27年第1回臨時会議決一覧表（平成27年5月19日開会）

事件の番号	件名	内容	結果
選第 1 号	議長の選挙について	市議会議長の選挙を行うもの	当選人決定 -
選第 2 号	副議長の選挙について	市議会副議長の選挙を行うもの	当選人決定 -
	常任委員会委員の選任について	総務企画委員会・福祉文教委員会・経済土木委員会の委員を選任するもの	選任 -
	議会運営委員会委員の選任について	議会運営委員会委員の選任を行うもの	選任 -
選第 3 号	筑西広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について	筑西広域市町村圏事務組合議会議員の選挙を行うもの	当選人決定 -
選第 4 号	県西総合病院組合議会議員の選挙について	県西総合病院組合議会議員の選挙を行うもの	当選人決定 -
選第 5 号	下妻地方広域事務組合議会議員の選挙について	下妻地方広域事務組合議会議員の選挙を行うもの	当選人決定 -
選第 6 号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行うもの	当選人決定 -
報第 1 号	処分事件報告について（和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて）	西榎生地内での公用車の接触事故により、損害賠償金として17万余円を支払うことで和解したもの	報告 -
報第 2 号	処分事件報告について（和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて）	門井地内での公用車の接触事故により、損害賠償金として13万余円を支払うことで和解したものの	報告 -
報第 3 号	処分事件報告について（和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて）	岡芹地内での公用車の物損事故により、損害賠償金として25万余円を支払うことで和解したものの	報告 -
報第 4 号	処分事件報告について（筑西市行政組織条例の一部を改正する条例）	組織機構の改編により、企業誘致推進課を企業誘致推進局とするため、条例を改正するもの	承認 ○ 23 × 0
報第 5 号	処分事件報告について（筑西市特別職の職にある者で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例）	筑西・桜川地区新中核病院建設推進協議会の廃止、筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会及び新中核病院建設委員会の設置に伴い、委員の報酬を定めるため、条例を改正するもの	承認 ○ 23 × 0
報第 6 号	処分事件報告について（筑西市税条例等の一部を改正する条例）	平成27年税制改正に伴い、ふるさと納税の申告手続の簡素化、マイナンバー制度に係る規定の整備等、所要の改正をするもの	承認 ○ 23 × 0
報第 7 号	処分事件報告について（筑西市都市計画税条例の一部を改正する条例）	平成27年税制改正に伴い、家庭的保育事業等の用に供する家屋及び償却資産に係る規定の追加等、所要の改正をするもの	承認 ○ 23 × 0
報第 8 号	処分事件報告について（筑西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	平成27年税制改正に伴い、基礎課税額等に係る課税限度額の引き上げ、軽減判定所得の算定方法の変更等、所要の改正をするもの	承認 ○ 23 × 0
報第 9 号	処分事件報告について（平成26年度筑西市一般会計補正予算（第8号））	歳入歳出それぞれ5,009万余円を減額するもの。補助事業に係る事業費確定に伴う精算やプレミアム商品券発行事業の増額等をするもの	承認 ○ 23 × 0
報第 10 号	処分事件報告について（平成26年度筑西市介護保険特別会計補正予算（第5号））	介護保険制度改正に伴う住民情報システムの改修に係る歳入の国庫補助金を増額、一般会計繰入金の減額をするもの	承認 ○ 23 × 0
議第 43 号	財産の取得について	教育情報ネットワーク機器整備のため、大村小学校・村田小学校・鳥羽小学校にパソコン及び関連機器を購入するもの	原案可決 ○ 23 × 0

# 議決一覽表

## 平成27年第2回定例会議決一覽表（平成27年6月3日開会）

事件の番号	件名	内容	結果
議案第44号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	教育委員会委員が任期満了となるため、委員の任命について議会の同意を求めるもの	同意 ○ 23 × 0
議案第45号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	市議会議員のうちから選任する監査委員の選任について議会の同意を求めるもの	同意 ○ 23 × 0
議案第46号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	公平委員会委員が任期満了となるため、委員の選任について議会の同意を求めるもの	同意 ○ 23 × 0
議案第47号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員が任期満了となるため、委員の推薦について議会の意見を求めるもの	推薦に同意 ○ 23 × 0
議案第48号	筑西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	市議会議員の報酬の額を改定するため、条例を改正するもの	原案可決 ○ 16 × 7
議案第49号	筑西市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び筑西市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	特例規定により減額されている市長・副市長・教育長の給与の減額幅を縮小するため、条例を改正するもの	原案可決 ○ 21 × 2
議案第50号	筑西市手数料条例の一部改正について	通称マイナンバー法に基づき発行される通知カード・個人番号カードの再発行手数料を定め、住民基本台帳カードの発行手数料を廃止するため、条例を改正するもの	原案可決 ○ 21 × 2
議案第51号	筑西市介護保険条例の一部改正について	介護保険法の改正に伴い、第1号被保険者のうち第1段階に属する方（生活保護受給者等）の介護保険料の軽減を図るため、条例を改正するもの	原案可決 ○ 23 × 0
議案第52号	筑西市営住宅条例の一部改正について	入居予定者を決定する際、DV被害者等で住宅に困窮する者を優先的に選考できるようにするほか、法律の改正に伴う所要の改正をするもの	原案可決 ○ 23 × 0
議案第53号	平成27年度筑西市一般会計補正予算(第1号)	新中核病院整備に向けた筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会の経費や病院整備に係る委託料の計上等により、歳入歳出それぞれ4億7,627万余円を追加するもの	原案可決 ○ 21 × 2
議案第54号	平成27年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第1号)	第1号被保険者のうち第1段階に属する方の介護保険料の軽減を図るため、歳入の保険料を減額、一般会計繰入金を増額等をするもの	原案可決 ○ 23 × 0
議案第55号	平成27年度筑西市病院事業会計補正予算(第1号)	新中核病院整備に伴う基本設計・実施設計費、土地購入費を計上するとともに、病院建設に係る継続費等を定めるもの	原案可決 ○ 23 × 0
議案第56号	工事請負契約の締結について	6月9日の条件付き一般競争入札（電子入札）に付した、養蚕小学校西校舎耐震補強・改造工事の請負契約を締結するもの	原案可決 ○ 23 × 0
議案第57号	工事請負契約の締結について	6月9日の条件付き一般競争入札（電子入札）に付した、関城西小学校南校舎耐震補強・改造工事の請負契約を締結するもの	原案可決 ○ 23 × 0
<b>【請願】</b>			
請願第1号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める請願	年金積立金の安全かつ確実な運用を堅持すること、責任の所在を明確にすること等を柱とした意見書の採択及び国への提出を求めるもの	採択 ○ 20 × 3
<b>【議員提出議案】</b>			
議員提出議案第6号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（案）の提出について	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書を国に提出するもの	原案可決 ○ 20 × 3
議員提出議案第7号	安全保障関連法案の拙速な成立をしないことを求める意見書（案）の提出について	安全保障法案の今国会での拙速な成立を図ることなく、慎重審議を求める意見書を国に提出するもの	否決 ○ 6 × 17

※「結果」欄の○・×の数は、可・否の議員数です。（議長は含みません）

# 議案質疑

開会日に提出された議案に対する質疑は、6月11日に行われ、2人の議員が6項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

## 議案第48号

**問** なぜ議員報酬を見直すのか

**答** 全国的にも低く、報酬審議会も容認

**問** 今回、議員報酬の改正が提案されている。改選後、直ちに報酬を値上げすることを市民は望んでないと思うがどうか。

**答** 現在の議員報酬は、平成17年に合併当時の予算枠内で定められた。以後10年間改正されておらず、全国の類似団体及び県内の議員報酬と比較しても非常に低い水準となっている。このことから、昨年、市長から報酬審議会に議員報酬

を諮問したところ10%程度の見直し答申をいただいた。今回提案した理由は、改選後の新たな議員にこの判断をお願いするためである。

## 議案第53号

**問** マイナンバー制度の導入は必要か

**答** 国の方針に従い万全を期し進めたい

**問** マイナンバー制度の導入が国会で論議されているが、その内容は何か。

**答** 全ての国民に固有の番号を付し、社会保障等の行政事務に正確性・効率性を確保し、公

正なサービスの提供と国民負担の軽減を図ることを目的とした制度である。そして、年金・雇用保険等の資格・給付の管理や、生活保護・国民健康保険等の事務、税の申告等に活用される。

**問** 導入による効果は何か。

**答** 申請手続きの際の添付書類の軽減、大災害時における本人確認の効率化、証明書のコンビニ交付による待ち時間の短縮などが考えられる。

**問** 行政における効率化は、すでにワンストップサービスなどで取り組まれていると思うがどうか。

**答** 住民にとって、申請時の添付書類の軽減は大きなメリットと考える。

**問** 個人情報保護は保護されるのか。

**答** 国から特定個人情報の適切な取り扱いに関するガイドラインが示されている。また、個人番号カードに使えるものは法律に定めがあり、個人のプ

ライバシー性が高い情報は入らないとされている。

**問** 国はもつと多くの情報を盛り込んでいく考えがあるようだ。市も条例で決めれば可能と聞くが、予定はあるのか。

**答** まだ予定していない。

**問** マイナンバーは世界でも導入されているようだが、アメリカでは、なりすまし詐欺が1,170万件発生している。日本でも年金機構が125万件的個人情報を流失させた。セキュリティ面で問題はないのか。

**答** なりすまし防止策として個人番号のみでの本人確認の禁止、個人情報の収集保管・特定個人情報のファイイル作成の禁止などの定めがある。また、個人番号カードは顔写真が入るため、なりすましは難しいとの国の見解もある。さらに、個人情報は一元管理ではなく、行政機関ごとに分散管理されることとなっている。市は、個人情報を扱うパソコンの専用回線の使用や、データの持



ち出しができないシステムの構築、職員研修の実施等に対応していく。

**問** 国のこれらシステム経費は、導入費で3千億円、年間維持費で300億円といわれる。今回システム改修費が計上されているが、本市の負担はあるのか。

**答** 住民基本台帳システムの改修費は10分の10が国補助。税務・児童福祉・生活保護・国民健康保険等のシステム改修は3分の2補助、3分の1交付税措置となる。

**問** 個人番号カード交付委託料3,780万円の内容は。

**答** 個人番号カードの管理・作成・発送・コールセンター等に要する事業経費であり、全額国補助となる。

**問** 情報流失した際の責任の取り扱いが国で明確化されていない。今、なぜ審議しなくてはならないのか。

**答** セキュリティ問題で厳しい

ことは承知している。国の指示にすぐに対応できるように今回提案したものだ。



議案第55号

**問** 新中核病院整備は順調か

**答** 専門家の支援を受け進めていく

**問** 新中核病院の建設予定地は、筑西幹線道路沿いで3ヘクタール程度という。今回、用地測量、地質調査、農地転用許可申請、土地鑑定等の経費が計上されているが、地権者との買収交渉等は済んだのか。

**答** 病院建設予定地は、7月21日の筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会の中でお示ししたい。現在、候補地を数力所調べており、今後、交

渉に入りたい。

**問** 地権者は何人いるのか。

**答** 今は答えられない。

**問** 一般会計補正の新中核病院整備総合支援委託料1億5,354万円の内訳は何か。

**答** 今後、基本計画に基づき、基本設計・実施設計に入ることとなる。その際、建物の発注方式、工程管理、コスト管理など発注者側からの専門的な支援と、公立2病院の業務・人事制度の統合支援を受けるための委託料である。

**問** 開院は平成30年度予定だが、現状で間に合うのか。

**答** 現在、9名の職員が一丸となりスケジュールに合わせて努力している。

**問** 新中核病院整備事業として72億5千万円が計上されている。土地代2億5千万円を含めると総額75億円となるが、その財源内訳を聞きたい。

**答** 国の地域医療再生基金25億円、病院事業債26億5千万円、一般会計出資金として合併特例債・一般会計出資債それぞれ11億4千万円、一般会計補助金の7千万円である。

**問** 過日の報道では、桜川市が整備する病院事業費は、120床で52億円、1床あたり4,300万円となる。本市の事業費は250床で75億円、1床3千万円と安いが間違いなのか。

**答** ご指摘の75億円は平成23年当時の積算であり、現在、見直しを行っている。資材の高騰等もあり100億円以上かかると思われる。建設費の削減については、多くの病院を手がけている専門家の先生方の支援を受けながら努力してまいりたい。



# 一般質問

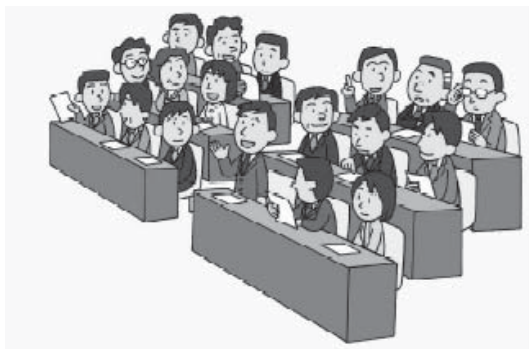
市政全般に関する一般質問は6月5日、8日、9日、10日の計4日間にわたって行われ、17人の議員が133項目に及ぶ質問をしました。

その主なものは次のとおりです。

## 『一般質問』

一般質問は、提案された議案に対して説明や所見を求め「議案質疑」とは違い、市長等の執行機関が行う行政全般に対し、事務の執行状況や将来における政策方針などについて疑問をただしたり、報告や説明を求めたりするものです。

また、一般質問は定例会でのみ認められるもので、臨時会では行われません。



## 問 答

6次産業化・観光を加味した農業振興を図るべきでは  
新しい視点、あらゆる角度から積極的に検討したい



森 議員

【議員】

本市は、県の銘柄指定を受けている「梨」及び「こだますいか」が有名であるが、労働に見合う収入、天災、後継者問題等で農業従事者は漸減傾向の状況である。このようなか、農産物の6次産業化観光を加味した地域政策も考慮した農業の振興を図るべきではないか。

【経済部長】

「梨」及び「こだますいか」など、果樹・園芸対策について、果樹・園芸農家を支援育成する国・県の事業を積極的に活用しながら各種施策を展開している。しかしながら、昨今の農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加などの対応新たな時代のニーズに即した農産物のブランド化及び6次産業化による農業政策への取り組みが喫緊の課題であることは十分認識している。特に県の銘柄産地指定を受けている「梨」及び「こだますいか」

は、本市を代表する農産物であるので、新しい視点、あらゆる角度から積極的に検討したい。なお、市農産物ブランド化推進委員会（仮称）を立ち上げ、農業政策の一環として、市の知名度アップ、魅力度アップにつなげ6次産業化の推進にも力を注いで、地域のまちづくりを視野に入れた政策を展開してまいりたい。



### 他の質問

- ▼まち・ひと・しごと創生について
- ▼米価下落対策について
- ▼元せきじょう味覚センター（ペアショップ）の活用について

**問** 小中一貫教育のモデル校を明野中学校区へ  
**答** 早急に総合教育会議を開催し決定したい



仁平議員

【議員】本市の学校校舎は改築や耐震補強により安全が確保されていることから、小中一貫教育に取り組む際は施設分離型とし、明野中学校区をモデル校として設定してはどうか。

【市長】少子化を考えると小中一貫教育は進める考えである。今後いろいろな方の意見を聞いて、前に進めていきたいと思っているが、明野中学校区もその一つかと思っている。

【教育長】小中一貫教育の基本方針の中でモデル校の設定についても協議をしていきたい。学校の在り方検討委員会からも意見をいただきながら設定していきたい。

【議員】全国的にも小中一貫教育のさまざまな成果や利点というものがデータとして上がっている。本市で実施した学校教育懇談会のアンケートの結果

で明野中学校区では、「小中一貫教育についてよく理解できた」が43・8%、「導入すべき」が93・8%で7つの中学校区で断トツであった。明野中学校区の5小学校は合同宿泊学習を実施しており、横の連携も非常にスムーズに行っている例もある。そのような観点も含めて、国でも小中一貫教育を進めていることから他の市町村におくれをとらないよう進めていく考えは。

【市長】総合教育会議を早急に開催し、決定していきたい。



グラウンドから見る明野中学校校舎

他の質問  
▼住宅取得応援事業について  
▼企業誘致政策について

**問** 新中核病院の診療科目は今後どのようなにまとめるのか  
**答** 第3回公立病院等再編整備推進協議会で再度協議する



鈴木議員

【議員】5月27日に開催された筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会では、新中核病院の診療科目について、はっきりとしたものが決まらなかつたと聞いている。今後どのようににまとめていくのか。病院の建設場所は筑波街道と筑西幹線道路の交差する場所と間違いないか。また、これからの病院建設はローコストであることが求められているがどうか。

【市長】3月27日と5月27日の2回、筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会が開かれた。第1回の会議では地域の医療機関との機能分担、連携を明確にすることが重要であること、救急搬送は3次医療機関に多く搬送されている状況であるのでこれを軽減し、2次医療まで完結すること、建築はローコストで行い、自治体になるべく負担をかけないよう

うに等の意見があった。第2回の会議では新中核病院が250床、桜川市立病院は120床との意見があった。診療科目については結論が出なかつたため、第3回の会議で再度協議してまいりたい。建設場所については、今回は筑西幹線道路沿いの養蚕地区であることを示した。



他の質問  
▼空き家対策について  
▼公共施設の統廃合問題について  
▼安全保障関連法案について



**問** 人口減少・定住促進対策の進捗状況は  
**答** 定住促進対策推進本部を設置して進めている



藤澤議員

【議員】

我が市の人口減少は恐ろしいほどのスピードで加速しており、消滅可能性都市として、もはやレットゾーンに突入するかのとき勢いである。そこで、我が市の人口減少・定住促進対策について、進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。

【企画部長】

昨年7月に「筑西市人口減少・定住促進対策推進本部」を設置し、「若者・子育て世代住宅取得応援事業」や婚活支援としての「未来の幸せ家族応援事業」、雇用や企業マッチングを促進する「就労支援・企業情報発信事業」などを現在実施している。また、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンを8月末、総合戦略を10月末を目途に進めてまいりたい。

【議員】

新たな就業場所の創造、企業誘致の展望について伺いたい。

【副市長】

本市の企業誘致の取り組みとしては、新たな工業団地を造成すべく造成候補地2か所のうち早期に事業実施が可能なら「つくば明野北部工業団地周辺」から優先的に、地権者の方々の意向確認を進めている。また、市内工業団地内の未利用地に進出を希望する企業に対し、「産業用地等買取制度」の活用を図るなどの取り組みも行っている。



他の質問

- ▼空き地・空き家対策について
- ▼地域総合防災計画について
- ▼教育行政について
- ▼下館運動公園について
- ▼選挙の投票率について

**問** 女性の声を社会に反映させる取り組み策は  
**答** 審議会委員などに30%の女性登用をめざす



小倉議員

【議員】

市には審議会など多くの外郭団体がある。これら審議会や市が主催するイベント等の企画部門に女性を積極的に登用する考えはあるか。次に、女性は仕事と家事の両立が困難なため約40%は昇進を望まないとの調査結果がある。女性が昇進試験を受け活躍したいと思える職場環境づくりや、出産・育児への支援整備など、市が民間企業のお手本となる制度に取り組んでどうか。

【市長】

本市は平成23年9月に「男女共同参画都市」を宣言し、男女共同参画基本計画に基づき各種事業に取り組んでいる。その1つに、政策・方針を決定する場への女性の登用率を設けている。当初19.5%であったが登用率は25.9%に向上した。道の駅整備推進協議会は17人中6人(35.3%)の女性にお願いする予定だ。女性ならではの視点もあり、

平成31年度までには30%を目指したい。次に、市の女性管理職員の割合は、昨年度は9%、今年度は14%と向上させた。平成31年度までに20%を目指し、能力ある職員は男女を問わず積極的に登用してまいりたい。



他の質問

- ▼女性が社会進出するためのサポートについて
- ▼不妊治療について



【議員】  
 誰もが、ある日突然、ひとり親世帯、病気、社会情勢の変化等により世帯収入が減少し貧困世帯に陥る可能性がある。また、貧困世帯に育った子供は再度貧困になる確率が高くなるという現実もある。このことは、本人はもとより社会にとつても大きな損失となる。そこで、経済的理由で学習意欲を失い授業についていけない子供のために、無償で学習支援等を行う筑西寺子屋制度の立ち上げを教職員OBやボランティア団体等と検討している。この取り組みがスタートした時、活動の場の提供と光熱費等の補助を市にお願いできないか。

【教育部長】

我が国の子供の総体的貧困率は16・3%、6人に1人が貧困世帯という調査結果がある。市は、地域と放課後における子供の居場所づくりとして、週5日制への対応、地域

**問** 明日を担う子供たちの学習塾「筑西寺子屋」への支援は  
**答** 関係機関と調整し支援したい



子供教室の推進事業などに取り組んできた。今年度は小学6年生、中学1年生を対象とした土曜学習を開催している。お尋ねの寺子屋制度の事業構想が示されれば関係機関と調整・連携を積極的に図り、支援してまいりたい。



他の質問

- ▼子供たちの通学路の安全対策について
- ▼高齢者・障害者の生活を守るコミュニティバスの運行について
- ▼市民ボランティア・NPO支援制度について
- ▼筑西市の魅力売り出すアイデアの創造について

**問** 国の教育振興基本計画に示された英語教員資格取得割合は62名中3名（4・8%）の教諭が該当



【議員】

政府が立てた教育振興基本計画の中に、中学校、高校の英語力向上が上げられている。その中で英語教員に求められる英語力は、英検準1級、TOEFL 80点、TOEIC 730点程度以上の英語教員の割合が中学校で50%、高校で75%とされた。昨年12月の文部科学省の調査によると2014年の全国平均は高校で55%、中学校で28%であり、目標にはほど遠い結果が出た。参考までに中学校で1位は福井県49・4%、2位富山県48%、3位東京都44・6%、高校で1位は福井県86・3%、2位が香川県82・4%、3位が富山県79・9%である。これからオリンピックも開かれる。世の中も大変グローバルになり、英語教育は非常に重要になってくる。そこで、本市の英語教員の現状は。

【教育部長】

本市英語教員においては、中

学校に勤務する英語免許所持者25名中2名、小学校勤務で英語免許所持者37名中1名、市内小中学校合わせて3名の教諭が該当する。割合については、非常に低い割合で4・8%となっている。



他の質問

- ▼新中核病院について
- ▼企画行政について
- ▼保健・福祉行政について
- ▼経済行政について
- ▼市民行政について
- ▼教育行政について

**問** 土曜日午後の保育を実施できないか  
**答** 7月1日から実施する



【議員】

パート勤めの親から、子供が通園している公立の保育園は土曜日の午後は保育を行っていないため、子供をあずけられず、正社員になりたくてもなれないとの相談を受けた。ついでに、土曜日午後の保育を実施することはできないか伺いたい。

【保健福祉部長】

お尋ねの公立保育園は保育士の募集をしても応募者が無く、対応できなかつたが、保育士のシフトを見直し、7月1日から土曜日午後の保育を実施する。

【議員】

放課後児童クラブは希望者全員が利用できるのか。

【保健福祉部長】

子ども・子育て支援制度の改正により、対象児童が小学校3年生から6年生まで拡大された。利用申し込みについては、低学年を優先している。

【議員】

放課後児童クラブは民間委託しているが、事故が起こった場合、責任は誰がとるのか。

【保健福祉部長】

放課後児童クラブは、市が運営を委託していることから、市の責任となるが、事故等が起きないように十分注意し、日々の運営に当たるよう指導している。また、事故・けが等に備えて、損害保険の加入を児童クラブに義務づけている。



他の質問

- ▼ スピカビル改修について
- ▼ 現本庁舎跡地利用について
- ▼ 新中核病院について
- ▼ 道路交通法の改正に伴い通学指導について

**問** コミュニティバスの運行はできないか  
**答** 地域公共交通網整備計画等の中で検討していく



【議員】

デマンドタクシーの利用状況は。

【企画部長】

利用者は平成25年度3万7,828人、平成26年度3万7,715人である。

【議員】

数字的に伸びていないが、利用を促す工夫をしているのか。

【企画部長】

利用方法がわからない方もいるので具体的な事例を加えた効果的でわかりやすい広報を心がける。また、実施主体である日専連しもだてのネットワークを生かした新たな事業展開の協議もしていきたい。

【議員】

運行事業者数、運行車両台数の現状は。

【企画部長】

運行事業者は7事業者、運行車両台数は10台である。

【議員】

苦情に対する運行事業者への指導は。

【企画部長】

協同組合日専連しもだてと連絡をとり、対応についてお願いしている。

【議員】

交通弱者や高齢者から強い要望の声がある、コミュニティバスの運行ができればと考えるがいかがか。

【企画部長】

今年度から策定を進める地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の中で、検討していきたい。



他の質問

- ▼ 安全で快適なまちづくりについて
- ▼ 職員の窓口対応について



**問** 新中核病院に研修センターの機能を整備する方向で努力していきたい



**問** 消防団協力事業所に対して入札時に加点する制度はあるか  
現在のところ加点制度は設けていない



【議員】

新中核病院は医師確保がしつかりとできる、安定してできる病院としなければならぬ。一番の決め手は医師が喜んで集まってくる病院となる仕掛けをつくっておくことである。北茨城市では地域医療の研修センターを整備したが、本市ではどう進めるのか。

【市長】

医師・看護師確保は非常に大切であると考えている。関係する医科大学や医療機関と連携し、研修プログラムの充実を図り、臨床研修指定病院を目指していきたい。

【議員】

臨床研修指定病院だけで満足してはいけないのでは。積極的に医師を育成していく機能の強化が必要だ。臨床研修センターを整備すれば、指導医がくる。よって若い医師も腕を磨け、研修プログラムも整い、資格も取っていく。これは医師確保に

とって大きなマグネットとなる。神栖市では、地域医療研修ステーション設置事業として、950万円を予算化し、筑波大学に委託している。本市でもやっていたいただきたい。

【市長】

関係各位のご協力をいただき、整備する方向で努力していきたい。



他の質問

- ▼ 新中核病院の医師確保について
- ▼ 中小企業振興条例の制定について
- ▼ 攻めの学校給食について
- ▼ デマンドタクシーについて
- ▼ 教育予算について

【議員】

当市の消防団の水防訓練が500人からの団員の参加で行われた。私も拝見したが、大変心強くありがたく感じた。当市の消防団のサラリーマンの割合は、5割以上である。サラリーマンは、日中の災害等で、仕事を抜けづらい。夜中の出勤は次の日の出勤に差し支える等のことから、消防団の団員の確保が重要と思われるが、消防団員の条例定数を伺いたい。

【市民環境部長】

条例定数は876人、現在の団員数は841人で35人不足している。

【議員】

他県では、事業所が消防団との連携を図り消防団活動へのより一層の理解を深め、従業員の消防団加入への協力や消防団員に対する不利益な扱いの防止のため、消防団協力事業所に対し入札に加点制度を導入したところ、協力事業所

が倍増した報告がある。当市は入札時の加点制度はあるのか。

【総務部長】

現在のところ、消防団協力事業所に対しての加点制度は設けていない。

【議員】

加点制度は設けていないとのことだが、市民の命や財産を守るため、消防団の方は一生涯懸命頑張っている。それを応援し、協力事業所を増やすためにも、加点制度を設けると消防団に関する理解も高まると思うので、考察願いたい。



他の質問

- ▼ 子育て支援について
- ▼ 空き家対策について
- ▼ スピカビルについて
- ▼ 教育行政について
- ▼ 道の駅整備事業について

**問** 道の駅の経営はこういった運営体になるのか  
**答** 最も適切な管理運営形態を検討したい



小島議員

【議員】平成32年度オープン予定の道の駅はどういった組織が経営体、運営体となるのか。

【企画部長】今年度策定する、道の駅の基本構想及び基本計画の中で検討する。想定される管理運営形態のメリット、デメリット等を精査し、最も適切な運営形態で行って参りたい。

【議員】財政支援をしながらの運営を想定しているのか。また、建設費用のうち借金部分の返済財源はどこから出すのか。

【企画部長】

財政支援をしながらの運営は想定していない。返済については、合併特例債で計画しているため交付税措置がある。

【議員】

公設運営は民間の商業施設と違い、初期投資費用の回収義務がなく、経営が甘くなりがちである。過剰投資、高経費体質になっていないのかを

市は注視していく必要があると思うがいかがか。また、経営責任の明確になるような体制ができているのか。

【企画部長】

健全な経営が行える体制をつくるのが絶対条件と考える。また、責任の明確化も必須と考えている。



他の質問

- ▼地方創生における人口ビジョンと駅南地区構想について
- ▼介護事業者の不正請求への対応について
- ▼入札制度について
- ▼筑西幹線道路と新中核病院について
- ▼再任用制度について

**問** 妊婦への「きずなメール」を導入できないか  
**答** 導入について真剣に考えている



尾木議員

【議員】

少子化対策の一環として、産前産後ケアの充実が大きな課題となっている。ここで、妊婦への「きずなメール」の導入を提案させていただきたい。きずなメールはNPO法人きずなメールプロジェクトが配信しており、複数の専門医の監修のもと、本当に信頼性・信頼性があり、例えば妊娠中のおなかの中の赤ちゃんの成長過程や、妊娠・出産・育児の基礎知識に加え、自治体の子育て支援の情報も併せて配信できるものである。現在は核家族化が進み、子育て中や妊娠中の若いご夫婦は心配事があってもすぐに相談できず、また、育児ストレスや産後のホルモンバランスの変化等により妊産婦の約1割が産後うつを発症すると言われている。産後うつは子供への虐待といった大きな問題につながりかねない。情報を配信することで、それを見て安心

できるといふメールなので、ぜひ導入していただきたい。

【市長】

現在、市では母子健康手帳の交付を初め、マタニティクラス事業、要支援妊産婦支援事業、親支援グループミーティング事業等、一人ひとりの妊婦等の個別の支援を大切にしている。導入についても真剣に考えていきたい。



他の質問

- ▼医療福祉費支給について
- ▼空き家対策について
- ▼認知症対策について
- ▼学校でのがん教育について



**問** 医療が一つの形になって地域医療連携だと思いがいかかか機能分担を意識した地域医療を進めていきたい



藤川議員

【議員】 市民病院は現在訪問看護をしているとのことだが、実績を伺いたい。

【市民病院事務部長】

訪問看護は平成9年から取り組んでいる。当初は市民病院の入院患者が自宅で療養したいとのことから始まり、訪問看護師の組織拡充、在宅療養支援病院の資格を取得して力を入れていく。平成26年度は、月当たり100回の訪問看護実績がある。

【議員】

市民病院は相談業務、他の病院を紹介したり、されたりと地域医療連携をしているが、これからの地域医療再生としては、高度急性期を筑波大学病院や自治医科大学病院、筑西市が目指す急性期、桜川市が担うであろう回復期、民間開業医や民間病院の慢性期がある。しかしながら、リハビリ、訪問介護の終末期ケアができる施設がない。新中核病

院ができて2次医療は完結しても、民間病院、包括ケア病院、病棟、救急必要性のある病院が、全体として一つの形になって地域医療が完結すると思うがいかかか。

【市長】

市内にある77の診療所及びクリニックの1次医療、現をつくろうとしている病院の2次医療、自治医科大学附属病院及び筑波大学附属病院の3次医療、全てがこの地域の方々を守ることになるので、今後も機能分担を意識した地域医療を進めていきたい。



他の質問

- ▼公共交通の利便性について
- ▼ふるさと納税について
- ▼地域交流センター(アルテリオ)の活用について
- ▼空き家対策について

**問** 下館駅にSLの転車台を経済効果を考え前向きに検討していきたい



増淵議員

【議員】 SLを使った観光を一層進めるため、下館駅にSLの転車台を設置してはいかかか。

【市長】

真岡駅と茂木駅の構内には転車台がある。下館駅にも設置されれば、ディーゼル機関車による牽引が不要になるだけ得ると考える。しかし、以前SLを保有する真岡線SL運行協議会やSLの運行を受託している真岡鐵道に要請したが、設置に必要な用地の確保が困難なために、難しいという結論であった。

【議員】

場所については何もしなければ難しいと思うが、下館駅には場所の余裕はあると思う。転車台ができれば、SLが回転するシーンが観光となり、子供たちも一緒に転車台に参加できれば、貴重な体験となる。真岡鐵道もディーゼルで引

かなくて済み、経費の削減にもなる。今ある貴重な財産「SL」を生かし、この地域をPRして観光振興を図りたい。ぜひJRを含め場所の交渉をしていただきたいが、いかかか。

【市長】

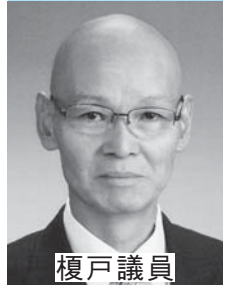
今後は、観光以外でも経済効果を挙げる方策を考える必要があると、常々思っている。真岡駅の転車台は土地代含めて1億円かかったと聞いていて、金額もしっかり見きわめて、前向きに検討していきたい。



他の質問

- ▼ちつくんスーパープレミア
- ▼ム商品券について

**問** 今後も6年サイクルでパソコンの入れかえを行うのか  
**答** 節約できるところは節約しながら計画的に入れかえてい



榎戸議員

**問** 空き家対策として不動産業界とタイアップしてはどうか  
**答** 来年度の空き家対策計画策定に当たって参考にす



保坂議員

【議員】

教育予算で今年度も五千万円以上のパソコン教室機材の入れかえをするという。果たして6年サイクルで本当に機材等全て入れかえる必要があるのか。6年位で入れかえとは民間では到底考えられない。また、使用可能な機材はあるはず。業者主導の入れかえから、行政主導にし、節約を望む。ある小学校のバスケットボールのゴールボードはペンキすら塗られていない状態である。同じ教育予算ではないか。

【教育長】

国のICT戦略が早いスピードで動いているが、行政主導で節約できるところは節約しながら計画的に入れかえを行っている。

【議員】

小中学校の部活動等で県大会や全国大会に教育委員会では助成しているが、予算が足りずPTAが中心になり、1

戸五、六百円の寄附を募るなど大変苦慮しているとの話を聞いているが助成金を増額できないのか。

【教育長】

基本的には今の規程で対応したい。

【議員】

小中学生が部活動等で、県大会や全国大会に行くことは大変誉れである。パソコン教室に年間何千万円も使う教育予算の中に、全国大会等の助成金を増額できるような配慮が欲しい。



(ICT: 情報通信技術)

他の質問  
 ▼ 企画行政について  
 ▼ 企業誘致推進局について

【議員】

今まで空き家対策はどのようにとってきたか。

【市民環境部長】

相談があった件については、所有者と話をしたり、また所有者と会えなかつた場合には文書等で改善のお願いをしたりしてきたところである。

【議員】

問題となるのは所有者がいない、相続を放棄された案件だと思うが、そういったものに対してはどうか。

【市民環境部長】

第一義的に責任があるのは所有者と管理者なので、まずは所有者と管理者の間で協議をしてもらう。特定空家等と認められる場合で、所有者、管理者がいない場合には、略式代執行の手続きを進めるしか方法がないと認識している。

【議員】

仮に代執行をしても回収できる見込みが非常に低く、税金を使って代執行ばかりする

わけにいかない。非常に苦慮されるところと考える。空き家にならないための対策として、今後、地元の宅建協会等不動産業界とタイアップして話を進めていく考えはあるか。

【市民環境部長】

来年度の空き家対策計画の策定に当たっては、議員の意見を参考にし、計画を考えていきたい。



他の質問  
 ▼ 新中核病院について  
 ▼ 市民病院について  
 ▼ のり愛くんについて  
 ▼ 議員定数削減について



# 常任委員会の審査から

従来同じ日に開催されていた3つの常任委員会は、今定例会から3日間に分けて開催されることになりました。

各常任委員会における主な質疑や出された意見は次の通りです。

○総務企画委員会 6月12日(金)

【議案第48号】

- ・ 議会改革の成果が出てから改正をしたほうが良い。
- ・ これから議員になる方が生活できる金額にし、議会活動に専念できるほうが良い。

【議案第53号のうち所管部分】

- ・ 新中核病院整備事業における測量・地質調査・開発許可等のスケジュールは。

【議案第55号】

- ・ 新中核病院整備に係る75億円の積算根拠は。

【請願第1号】

- ・ 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書について

○福祉文教委員会 6月15日(月)

【議案第51号】

- ・ 保険料軽減の対象者・世帯数、軽減の程度は。

【議案第53号のうち所管部分】

- ・ マイナバー制度導入は情報漏えいのリスクが伴う。
- ・ 放課後児童クラブ整備事業における補助対象施設の規模は。
- ・ 明野武道館天井の震災当時における被災点検等の内容と、破損見逃し再発防止策は。

○経済土木委員会 6月16日(火)

【議案第52号】

- ・ 優先的に入居できる条件は。
- ・ DV被害者等の該当者があつた場合の対応は。



福祉文教委員会現地視察  
(明野武道館天井改修工事)

# 人事紹介

教育委員会委員の

任命に同意

教育委員会委員1名が任期満了となるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により次の方の任命に同意しました。

塚本 真実(再任)

筑西市門井1789番地2

監査委員の選任に同意

市議会議員のうちから選任する監査委員として、地方自治法の規定により次の議員の選任に同意しました。

堀江 健一(新任)

筑西市玉戸45番地

公平委員会委員の

選任に同意

筑西市等公平委員会委員1名が任期満了となるため、地方公務員法及び筑西市等公平委員会規約の規定により次の方の選任に同意しました。

篠崎 和子(再任)

筑西市樋口1300番地205

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員1名が任期満了となるため、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求められ、次の方の推薦に同意しました。

菊地 富壽(再任)

筑西市東石田958番地

## 第1回臨時議会

議員改選後初となる第1回臨時議会が5月19日に開かれました。

平成27年4月から施行された議会基本条例に基づく決意表明制度により議長・副議長が選出されたほか、各種委員会委員の選任・一部事務組合議会議員の選出が行われました。

また、和解や条例の一部改正、補正予算についての市長の専決処分に係る報告、教育情報ネットワーク機器整備に係る財産取得の議案の提出がありました。議案は本会議で慎重に審議され、全会一致で可決されました。

# 議会日誌

- 4月 26日 市議員研修会
- 30日 議員研修会
- 5月 7日 議員研修会
- 14日 議員研修会
- 19日 議員研修会
- 20日 市議会議員1谷1報41回
- 21日 市議会議員1谷1報41回
- 25日 市議会議員1谷1報41回
- 27日 市議会議員1谷1報41回
- 28日 市議会議員1谷1報41回
- 29日 市議会議員1谷1報41回
- 6月 1日 市議会議員1谷1報41回
- 3日 市議会議員1谷1報41回
- 3日 市議会議員1谷1報41回
- 5日 市議会議員1谷1報41回
- 11日 市議会議員1谷1報41回
- 17日 市議会議員1谷1報41回
- 18日 市議会議員1谷1報41回
- 7月 7日 市議会議員1谷1報41回
- 13日 市議会議員1谷1報41回
- 16日 市議会議員1谷1報41回
- 21日 市議会議員1谷1報41回



暑中お見舞い

申し上げます

筑西市議会



公職選挙法により、議員個人の暑中見舞いなどのあいさつ状の差し出し、初盆のご挨拶は禁止されておりますのでご了承ください。

## 編集後記

新しい布陣での初の定例会が開催されました。筑西市議会も今年度から「議会基本条例」が施行され、より健全で活発な開かれた議会運営を目指してまいります。

これまで三つの常任委員会は同日での開催でしたが、今年度からはそれぞれ別の日に開催され、我々議員も他の委員会を傍聴することが可能となりました。市民の皆さまにも公開しておりますので、ぜひ傍聴にお越しください。

またごらんの筑西市議会だよりも改革を進めてまいります。今回から議決一覧表の結果欄に、可否の議員数を記載することとなりました。これは、我々議員がさらに緊張感を持つて議会活動に臨み、また、紙面を通してその緊張感、臨場感を市民の皆さまにわかりやすく伝えるためであります。

広報委員会はこれから「もつと読みたくなる議会だよりづくり」と「議会ホーム

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は  
**9月2日**  
に開会の予定です。



議会の放映は、市役所本庁舎1階エントランスホールと4階議場前ホールでご覧になれます。

ケーブルテレビ放映、インターネット配信もあわせてご覧ください。

### 【広報委員会】

- 委員長 藤川 寧
- 副委員長 藤倉 和成
- 委員 小澤 ひと美
- 三澤 隆一
- 田中 隆徳
- 真田 洋行
- 箱次 茂
- 鈴木 聡

筑西市議会事務局  
筑西市下中山732番地1  
☎24-21111 (内線372)

ホームページ: <http://www.city.chikusei.lg.jp/>